

CNAC 第10回全国フォーラム開催

館山海辺の文化と暮らし

NPO法人海に学ぶ体験活動協議会(CNAC、三好利和代表理事)は2月6日、千葉県館山市の南房総たてやま夕日海岸ホテルで「第10回全国フォーラム」房総に根づく海辺の文化と暮らしをテーマに開催した。後援は国土交通省港湾局、関東地方整備局、館山市、みなと総合研究財団。

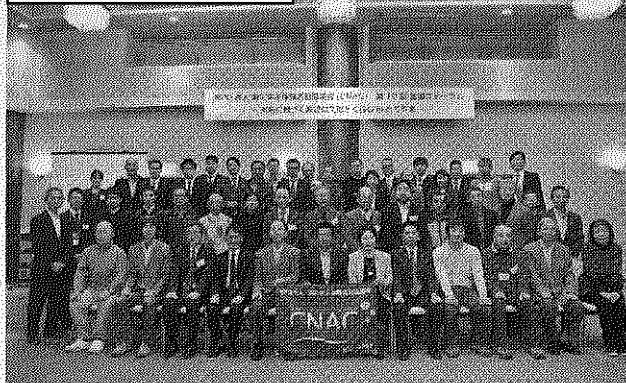
フォーラムでは開会にあたり三好代表理事が挨拶した後、来賓の佐々木国交省港湾局海洋・環境課長、金丸館山市長、宛頭みなど総合研究財団理事長が挨拶。そして荒井鴨川シーワールド総支配人兼館長兼国際海洋生物研究所所長が「房総から発信する鴨川シーワールドの役割」と題して基調講演した。

その後、房総地域で展開されている個性ある海辺の活動事例について4団体から報告があった。報告したテーマ並びに発表者は▽海とのつながり、くじらの食文化(くじら食文化研究会おかみさんの会代表/南美倉代表取締役・樺原八千代氏)▽たてやまの海で学ぶ(根づく海辺の体験活動)(NPO法人たてや

ま・海辺の鑑定団理事長・竹内聖一氏)、▽海辺のまちへライフスタイルシフト(NPO法人おせつ会理事長/シー・デイズ代表取締役・八代健正氏)、▽館山夕日桟橋、渚の駅たてやまを活用した地域の活性化(館山市プロモーションみなと課長・石井博臣氏)。

このうち石井氏の報告では、館山湾を中心とする館山市の交流人口の拡大や地域の活性化、「海辺のまちづくり」を実現するためのビジョンを平成21年に策定したことを紹介。また定期的なクルーズ客船の寄港や、高速ジェット船の春の季節運航(東京・館山・大島)、湾内遊覧船(平潜水式)海中観光船(たてやま号)の就航していることを説明したほか、ビーチイベントの振興、海岸活性化の取り組み等も報告した。

フォーラムではこのほか、4名の報告者並びに三好CNAC代表理事がパネラー、佐藤初雄CNAC顧問がコーディネーターとなり、「海辺の文化と暮らしのこれから10年」をテーマにパネルディスカッションを実施した。



フォーラムの参加者ら

施。また翌日の7日には「海辺文化体験」を回る「海辺文化体験」も行った。